

① 《特集》 情報公開が社会を進化させる

- ⑩ 《うおろ君の気にな～るゼミナール》
「ゼロ・ウェイスト」って?
- ⑪ 《ヴォロ's トピック》
2022年度 市民活動関係の全国集会・大会予定
- ⑪ 《NEWS》
大阪府共同基金会の助成申請受け付けのお知らせ
- ⑫ 《実録・市民活動「私のいちばん長い日」》
ポンポン船に揺られてハンセン病療養所に向かった日
長尾 文雄
- ⑬ 《熊本地震災害・熊本発～現地から伝える「被災地の今」》
地域のつながりとコロナ禍の豪雨災害支援
樋口 務（特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク 代表理事）
- ⑭ 《V時評》
1.遊びと宗教とボランティア
2.「参加の力」は心理的に安全な場づくりから
- ⑯ 《マーキーのオンラインファシリ術！》
オンライン・イベントを緊急開催するコツ
青木 将幸（オンライン会議ファシリテーター）
- ⑱ 《現場は語る～コーディネートの現場から》
中間支援組織のつなぐ・伝える役割
——コロナ禍の緊急食料支援を通じて
青山 織衣（大阪ボランティア協会 ボランティアコーディネーター）
- ⑳ 《言葉 Part3 歴史の中のボランティアズム》
半島に新しき墓を儲く、これ亦吾々の前途に於ける強き足台とならん。(浅川 巧)
- ㉑ 《U35》
鶴田 七瀬さん（一般社団法人ソウレッジ 代表理事）
- ㉒ 《この人に》
仲岡 しゅんさん（うるわ総合法律事務所 弁護士）
- ㉓ 《アゴラ／シネマ／ライブラリー》
南谷茶房／『帆花』／書籍紹介
- ㉔ 《傍聴カフェ～裁判からみえる社会》
ケースNo.30 「別れ話の放火未遂」



じぶんの町を良くするしくみ **赤い羽根共同募金**

共同募金は、地域をつくる市民を応援していきます。

例えば……



地域で、子育てのお手伝いをしたり、悩んでいるお母さん、お父さんの相談にのる活動や、



障がいのある人が、まちで幸せに暮らせるお手伝いをする活動や、



地域で、1人暮らしや寝たきりの高齢者に、栄養の整った食事を届ける活動や、



地域に住むみんなが「安心・安全」に暮らすための活動や、

地域のいろいろな活動のために役立てられます。

- 新型コロナの影響で人と人が距離を取り、つながることが難しい状況ですが、つながることをあきらめず、孤立孤独の問題に取り組むことがこれからのwithコロナの社会づくりに大切です。今年度は中央共同基金会の全国共通助成テーマである「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」に重点を置き、withコロナ、ポストコロナに向けた社会づくりへの支援など先進的な事業を『重点助成テーマ』として福祉活動の支援を行ってまいります。
- 国内で大きな災害が発生した時は、共同募金は都道府県域を超えて、被災地で被災した人々を助ける活動の支援も行います。
- 寄付金には、税の特典があります。会社など法人の寄付金は、全額損金算入できます。個人の寄付金は、所得税の所得控除または税額控除、住民税の税額控除の対象になります。

※赤い羽根共同募金会では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、日常生活に困難を抱える子どもと家族をめぐる生活課題をはじめ、さまざまな福祉課題に対する取り組みを実施している団体・グループの活動を支援・助成するため福祉活動応援全国キャンペーンを行っています。

赤い羽根おおさか

www.akaihane-osaka.or.jp/
募金の使いみちはすべて、ホームページに掲載されています。

情報公開が社会を進化させる

人民が情報を持たず、情報入手手段を持たないような人民の政府というのは、喜劇への序章か悲劇への序章か、あるいは双方への序章にすぎない。

——米国第4代大統領ジェームズ・マディソン

【特集チーム】 武田かおり、神野武美、増田宏幸、永井美佳、百瀬真友美

行政の独占から市民との共有へ 情報公開の機能と成果

「情報」は、市民活動が政治や市民に提言し、活動を活性化させるのに不可欠である。そうした情報は、サイト上のオープンデータの活用、行政や企業へ情報提供を求めるといった方法だけではなく、国や自治体などの情報公開制度を使って入手することもできる。1982年の山形県金山町を皮切りに全国の地方自治体で情報公開条例が制定された。2001年には、国の情報公開法も施行された。行政が独占していた情報を市民が入手する権利が保障されたのである。ただ、それを実質化するには、市民の息長い闘いが必要である。「固い壁」を突き崩した先には「情報の共有」という民主主義の進化が見出せるのである。

開発申請の誤りを発見し 工事ストップ

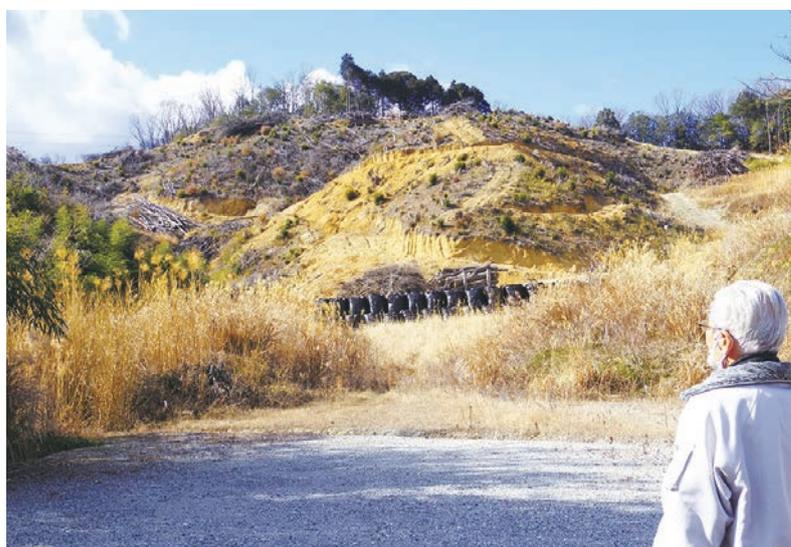
情報公開制度は時として、市民にとって力強い武器になる。例えば、奈良県平群町の生駒山地の東斜面で工事が進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）に対し、奈良県は2021年6月、工事停止の行政指導を行った。下流の住宅地の住民が、県への情報公開請求で入手した林地開発許可申請書の「誤り」を指摘したのがきっかけであった。

住民の不安は、上流部の山林の樹木を伐採し山を削り谷を埋め盛り土してつくられた太陽光発電所から、大雨で水と土砂が保水能力を失った谷沿いに流れ下り、住宅地を襲うのではないかと、同発電所は、標高300メートル前後、高低差約50メートル、約48ヘクタールの山林に約5万3千枚のソーラーパネルを設置する計画。県は19年11月に開発を許可し、20年2月に工事が始まり樹木は伐採され、山は丸裸になった。

住民たちは20年1月、「平群のメガソーラーを考える会」を結成し、建設差し止めの訴訟を起こすとともに、県や平群町に公開請求を行った。代表世話人の一人の多田恵一さんは「平群町に、事業者との協議記録を請求したが、ほとんど『不存在』とされたという。しかし、県が開示した林地開発許可申請書に添付された「下流河川流下能力の算定」に、測定地点の22カ所の斜度が全部18%という「ありえない事実」を発見したのである。これを受けて、荒井

正吾知事は、「工事停止」を求めるとともに、「ガイドラインを設けて必ず現地調査を盛り込む」と表明した。

奈良県内の開発問題に詳しいインターネット新聞「奈良の声」の

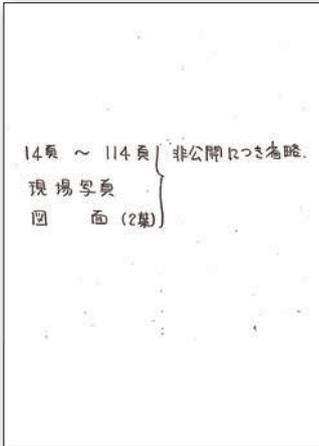


樹木が伐採され、風化花崗岩の山肌が見えるメガソーラー予定地（奈良県平群町で）

浅野詠子記者は「1992年に提訴されたゴルフ場開発差し止め訴訟では、情報公開条例（96年に制定）が当時無かった奈良県は裁判所の指揮で開発申請書類を渋々開示した。2014年の県森林審議会林地開発審査部会では、『太陽光発電のガイドラインの策定を検討する』と議事録にあるが、その後の『検討』の記録は『作成していない』だった」と話す。「検討」は口先だけだったのである。

公開のナショナルスタンダードの確立

大阪府は1984年10月1日、神奈川県（83年4月）、埼玉県（同6月）に次ぐ都道府県で3番目の情報公開条例（当時は、公文書公開等条例）を施行した。府内茨木



安威川ダム地質調査資料は大部分が非公開だった

市在住の高校教師（当時）江菅洋一さんは施行日当日、同市内を流れる安威川あゐがわに建設予定のダムサイト予定地に活断層があると疑い、「安威川ダムサイト地質総合解析結果報告書」を公開請求した。府は「継続中の調査であり、意思形成過程に該当する」として大部分を非公開にした。

公文書公開審査会（現情報公開審査会）でも覆らず、江菅さんは85年6月、大阪地裁に行政訴訟を起したが、92年の地裁判決は敗訴。しかし、2年後の94年6月の大阪高裁判決は「意思形成過程情報であっても、専門家の科学的視点に基づく客観的な調査報告書等は公開すべきだ」として原告の全面勝訴となり、95年4月の最高裁判決もそれを支持し、「調査報告書など同種の情報は公開される、というナショナルスタンダードが確定した」（江菅さん）のである。私有財産に関わる「個人情報」も「壁」の一つである。活断層や浸水の危険などの情報が公開されると、「資産価値が下がる」「個人の土地の情報を了解を得ないままでは公開できない」といった理由

で非公開にする自治体もあったからである。しかし、神奈川県は87年3月に「自然災害回避行政推進方策」を策定し、がけ崩れ、土石流、洪水・浸水などの記録を地図上に記した現在のハザードマップに相当する「アボイドマップ」を公表した。

県環境政策課作成の文書によると、「公表はさまざまな影響を及ぼすことが予想され、反対する意見もあった。例えば、地域のイメージダウンにつながったり、土地所有者や宅建業協会等からの苦情といった社会的影響、また、行政への要求が増大することなどが危惧された」が、「情報提供によって生じる影響よりも、情報を提供しないことによって発生する災害の方が損害ははるかに大きい」と公表に踏み切ったのである。その結果は、苦情や批判もなく、宅建業協会から「むしろ積極的に利用したい」と協力を得られたという。

非公開から「医療機能情報提供制度」へ

筆者が代表を務める市民団体

「知る権利ネットワーク関西」は発足直後の88年9月、初めての「情報公開請求体験ツアー」を大阪府に対して行った。ツアーは、普通の市民が気軽に情報公開条例を使い、行政側がそれに答えるというのが目的。市民に呼びかけ、一緒に情報公開窓口に行つて公開請求する。筆者らメンバーは請求希望者にアドバイスしたり、行政職員に対しては適正な運用を求めたりする。

悪徳医療の被害者の救済活動をしている当時会社員の岡本隆吉さんはこの日、「医療監視」の結果を公開請求した。医療監視は、都道府県が各医療機関に診療科目、医師や看護師の配置、病床数などの医療体制について報告を求め、年に1回立ち入り検査をする制度である。請求の結果は、統計的な数字などが公開されたが、個別の病院名は非公開。それでも府内608病院のうち、医師数が法定に達していない病院が204と3分の1を占め、薬剤師不足182病院、看護師不足141病院など、お寒い実態が明らかになった。

うおろ君の
気にな〜る
ゼミナール

Vol. 123

「ゼロ・ウェイスト」って？



まんが ■ ラッキー植松



「ゼロ・ウェイストとは、ごみの発生をゼロへと近づけるために、資源として循環させていく考え方である。」

モノを大切に使い、ごみを減らす「リデュース」、長く使えるものを繰り返し使う「リユース」、資源として再び利用する「リサイクル」の「3R」が推進されてきた。しかし、日本では「可燃ごみ」という言葉があるように焼却を前提にされており、焼却率は約77%でOECDの平均22%と比べて極めて高く、リサイクル率もOECDの中で下位にある(注)。つまり、3Rの推進といっても、ごみ処理の方法によって内実に大きく影響するのだ。

ゼロ・ウェイストはこれまで個人に委ねられてきた削減を、「発生抑制」の視点を基本に自治体(地域社会)の取り組みへと転換させていくものといえる。世界のさまざまな都市でゼロ・ウェイストへの努力がなされている。

日本では徳島県の上勝町が「ゼロ・ウェイストタウン計画」を策定し、さまざまな実践からリサイクル率を81%に上昇させた。一方で約2割が残り、地域社会の取り組みだけでは達成困難であることも明らかになっている。

資源の回収や再利用を前提としたサプライチェーンを形成するサーキュラーエコノミーの視点を取り入れた仕組みづくりも同時に求められている。

編集委員 竹内友章

ウォロ・バイダー、
いかがでしょうか?

ウォロ2年分(12冊)を
挟み込めるバイダー
(1冊500円+送料350円)です。
お問い合わせはウォロ編集部/office@osakavol.orgまで





2022年度 市民活動関係の全国集会・大会予定

5月12日(土)
～13日(日)

第6回 災害時の連携を考える全国フォーラム

テーマ 災害支援の文化を創造する
対象 災害時、被災者支援に関係する団体・機関、被災者支援に関心のある方
会場 オンライン
参加費 8,000円 定員 600人
主催 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)

5月28日(土)
～29日(日)

全国ボランティアリズム推進団体会議 (通称「民ボラ」) in 東京 (第39回)

テーマ 市民の声は社会を変えられるのか？
対象 全国のボランティア・市民活動推進団体の役職員・スタッフ、関心のある方
会場 東京ボランティア・市民活動センターおよびオンライン
参加費 4,000円 定員 120人
主催 ボランティアリズム推進団体会議 (民ボラ) (大会事務局 東京ボランティア・市民活動センター)

11月18日(金)
～19日(土)

ボランティア全国フォーラム 2022 *詳細未定

対象 ボランティア・市民活動を推進する人々、ボランティア・市民活動に参加している方、関心のある方
主催 「広がれボランティアの輪」連絡会議 (全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター内)

12月17日(土)
～18日(日)

越境のプラットフォーム～コーディネーション実践研究集会 *詳細未定

対象 地域や組織で人や団体のコーディネーションに携わる方、市民の参加や協働の場をつくるコーディネーション実践に関わる方、異なる分野とつながり、社会課題の解決をめざしたい方
会場 オンライン (会場開催する分科会は東京と関西 (大阪・京都) を予定)
参加費 6,000円 定員 200人
主催 日本ボランティアコーディネーター協会 研究集会実行委員会

2023年初
開催予定

ファンドレイジング・日本 2023 (FRJ2023) *詳細未定

対象 非営利組織に所属するファンドレイザー、寄付・社会的投資に興味がある方
主催 日本ファンドレイジング協会

【学会年次大会予定】 日本 NPO 学会：6月11日(土)～12日(日) 武蔵大学 (オンライン開催)
日本地域福祉学会：6月11日(土)～12日(日) 西南学院大学 (オンライン開催)

* 2022年3月末現在の情報、編集部調べ

NEWS

大阪府共同募金会の助成
申請受け付けのお知らせ

赤い羽根共同募金助成金

対象…大阪府内で行う民間社会福祉事業、更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体が、2023年4月～24年3月末に実施する事業
受付…22年5月2日(月)～20日(金)

河原林富美福祉基金助成金

前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響下でさまざまな福祉課題に取り組む事業も対象としています。
① ボランティア活動支援事業

対象…大阪府内にて広域で福祉ボランティア活動を行い、一定の要件を満たす団体が、22年8月～23年3月末に実施する事業
② 社会福祉協議会への地域福祉活動促進事業

対象…大阪府内の市区町村社会福祉協議会が、22年8月～23年3月末に実施する軽自動車購入事業または地域福祉活動促進事業
受付締切…①②とも22年5月31日

いずれも、詳しくは大阪府共同募金会ホームページ (<http://www.akaihane-osaka.or.jp>) をご覧ください。



人生ゲームのような形式で成長過程をたどりながら考える「プレイクすぐろく」



U35

第31回

いま若手起業家が熱い！これからの社会を担う35歳以下の社会起業家、その若さあふれる「実像」に迫ります。思いを行動に移した若き起業家たちの「物語」には、きっとあなたにも伝わる「熱さ」があります。

一般社団法人ソウレッジ **鶴田七瀬**さん

一般社団法人ソウレッジ

静岡県掛川市秋葉路8番地の3

連絡先 <https://sowlledge.stores.jp/inquiry> のお問い合わせフォームから連絡

2019年2月任意団体として活動開始。8月一般社団法人化。子どもたちが、根拠のない性情報あふれる環境のなかで生きていることを問題視し、未就学児や小学生をメインターゲットとした性教育用の製品を開発・販売している。製品開発事業の他、現在は緊急避妊薬の普及に向けて、無料配布・保険適用を求めて活動を実施している。

歯を磨くように、 当たり前前に性被害を予防できる社会へ

性と恥ずかしさ

2019年に任意団体から発足したソウレッジは、主に未就学児や小学生の子どもに対して、正しい性の知識を届ける商品を開発・販売している。性教育の知識がプリントされたトイレットペーパーや、プレイベートゾーン（注1）について学ぶカードゲームがある。

代表の鶴田七瀬さんは「性にまつわる被害を受けた時に、恥ずかしいものであると口を閉ざさず、当たり前前に相談でき、その後の対処もできるように、早い段階から知識を伝えたい」と話す。幼少期から、みんなが性教育を恥ずかしがることに違和感があった。事業を具体的に考え始めたのは、大学の友人から性被害を打ち明けられたことがきっかけだった。彼女は1年もの間、親友である自分にも相談できず、被害を受け続けていたのだ。そして驚くことに、加害者側の男性も自身の知り合いであり、普段はコミュニケーションの人氣者だったのだ。性暴力の加害者は「見ず知らずの怖い人」というイメージを漠然ともっていた鶴田さんは二重のショックを受けた。

原因は知識不足!?

友人から被害を打ち明けられたことをきっかけに、性被害について勉強を始めた。すると、これまで「嫌だな」と感じていたいくつもの出来事は、実は性被害であったことに気が付くことができた。例えば男性から突然卑猥な言葉を投げかけられたり、家に泊めてほしいと執着されたり。それらがきっかけでコミュニケーションから遠ざかってしまうのはいつも女性側であること。同時に、日本に住んでいる女性は、自分と同じように、それが被害と認識できないほど日常的に性被害を受けているのではないかと考えた。

ちょうどその頃、#MeToo（注2）や生後0日児の死体遺棄問題、被災地に支援物資として届けられた生理用品が「卑猥なもの」として配布されなかった問題が重なり、「性」が抱える課題への問題意識が高まった。

生理用品が「卑猥」とされ配布されなかった理由は、驚くべきことに「生理は性行為のあとに起きる現象」と勘違いしている男性がいたからだだと知った。「そんな間違いがあるのか？」と懐疑的でもあったが、性暴力も、恋愛の仕方がわからず性的同意ができて



幼少期から当たり前前に性教育を学んでいたのだ。

この「当たり前」のキーワードが、自分の問題意識と重

なかつたり、現実とはかけ離れたスマートフォンな男性像が共有されていたりなど、さまざまな知識不足による側面が大きいのではないかと思いついた。そこで最初は正しい性教育の情報を伝えるソーシャルメディアを作ろうとしたが、友人に「性」の言葉が入っているアカウントをフォローするのが恥ずかしい」と言われ、「恥ずかしさが大きな壁になってる。もっと人目に触れることが必要」と考えるようになった。

当たり前前に相談して

そんな頃、オランダ、フィンランド、イギリス、デンマークの性教育の現場を見て回る留学の機会を得た。留学して学んだことは、性教育の開始年齢が日本よりもずっと早いことだった。小学生、早ければ幼稚園から始めている。日本のように年に1度ではなく、

なった。当たり前前にあるということは、当たり前前に人に話せるということ。加害者をゼロにすることが困難でも、被害にあったとき、すぐに誰かに相談することができれば、友人のように1年も被害を受け続けることはなかっただろう。1回目の被害のときに相談して、対応できていたはずなのだ。

そこで、日常の中に当たり前前に存在できる場所、恥ずかしさを感じやすい日本の土壌に合ったものを検討し、性教育の知識がプリントされたトイレトペーパーの商品化を思いつく。Twitterを通じてクラウドファンディングを実施し、200万円を集めて製作に取り掛かることができた。自身が性にまつわる問題に重ねて触れて課題意識が高まったように、関心はあるけど何をしたらいいのかわからない人たちが多く存在することを実感した。その後、19年に法人化。性教育コ

対処できる仕組み作りを

現在取り組んでいるのが、緊急避妊薬（注3）を無料で配布するプロジェクトである。ソウレッジはこれまで、知識を届けることによって問題解決を図ろうと動いてきたが、知識が届いても、金銭的な面で対処することができない壁にぶつかった。

緊急避妊薬は不安のあった性行為後に服用して、妊娠を避けることができる最後の手段であるが、費用が1万5千円程度かかる。若い人ほど望まない妊娠をして深刻な悩みにつながるやすいにもかかわらず、高額なため使うことができていないのだ。

不安な性行為のあと、ネットで緊急避妊薬の存在を知っても、到底買える

コンテンツを増やして展開している。

値段ではない。諦めて不安な時間を過ごしたあと妊娠が判明しても、中絶手術はさらに高額なため、流産を望んで信憑性の薄い民間療法を試す。さらに誰にも相談できず、中絶できる期間を過ぎてしまうと、産んでから殺そうと思いつめる。望まない妊娠をした女性、最も不幸な結末へのプロセスだ。「初期に対処できていたら、最も不幸な結末は訪れませぬ」と鶴田さんは話す。

「私は、性教育も歯の手入れのようになってほしいと望んでいます。自分の歯の状態を多くの人知っていますように、歯ブラシが1本数百円で購入できるように、性にまつわることも、知識とアクセスを整備したい」

編集委員 稲田千紘



鶴田 七瀬さん

一般社団法人ソウレッジ 代表理事

1995年生まれ。静岡県出身、兵庫県在住。日本の性教育の現状を現場視点で学ぶ目的で、NPO法人のインターンで性教育講演などを経験。性教育を積極的に行う国の教育・医療・福祉などの施設を30カ所以上訪問し、帰国後に「性教育の最初の1歩を届ける」ことを目指して一般社団法人ソウレッジを設立。2022年度 Forbes 30under30「日本発、世界を変える30歳未満の30人」受賞。

（注1）「むね」パンツでかくれるところ「くち」自分がさわられたくないところを「プライベートゾーン」と呼ぶ。（ソウレッジホームページより）（注2）性被害の体験をTwitterなどのSNSで「#MeToo」のハッシュタグをつけて告白するムーブメントのこと。2017年にニューヨーク・タイムズ紙がハリウッドで影響力のあるプロデューサーの長年にわたる性暴力・セクハラ疑惑を報道したことがきっかけ。（注3）避妊をしなかったまたは避妊が失敗してしまった時に服用し、排卵を抑えることで妊娠しないようにする薬のこと。服薬するのが早ければ早いほど効果が高く、妊娠の不安のある性行為から72時間（3日）以内の服用で約85%以上と言われている。（ソウレッジのクラウドファンディング説明文より）

「南谷茶房」

2000年に世界遺産登録を受けた首里城跡。南谷茶房はその玄関口、ゆいレール首里駅そばに位置する。茶色の花ブロック(注1)で飾られた外壁が印象的なマンションの1階。店内中央、木製のオープンカウンターに囲まれた広々としたキッチンでは、自家焙煎(ばいせん)のコーヒーをはじめ、各種ドリンクがサービ

スされる。コバルトブルーのコーヒーカップは韓国の作家によるオリジナル。やちむん(注2)が使われることの多い県内のカフェでは珍しい。

「コロナ前はカウンターを囲んで、たくさんの方が座れたんです。毎日のように来る地元の常連さん、首里城に行くインバウンドのお客さんたち……。ここに来たら知らない人同士でも話が弾んで、みなさん親しくなれたんですよ」と、オーナーの座波美枝子(ざなみ えだこ)さんは話す。

オープン16年。当時の共同経営者と、それぞれ好きな字を一つずつ選んで店名にした。通り沿いだが周囲の建物の影響で、陽光の差し込む時間はわずか。「名前の通り『谷』みたいでしょう」。詩を読む会、コンサート、韓国語教室、コーヒー講座など、陽は当たらないが、いつも暖かい照明に包まれた店内では多彩なイベントが開かれ、また近くの県立芸術大学の学生に、絵画、絵本などの発表の場を提供するなど、さまざまな人たちの交流を紡ぎ出す拠点になっていた。

コロナ禍による環境の変化に合わせ、座波さんは店内をプチリニューアルし、少人数で利用できる半個室のレンタルスペースを設けた。テレワークや読書などに活用できると、新しいお客も増えている。さらに店内ギャラリースペースでのオリジナルグッズの販売や、自家製チョコレートを用いたドリンクメニューなど、店の新しい魅力づくりに余念がない。

編集委員 村岡正司

南谷茶房

那覇市首里鳥堀町4-8-2 電話 080-9852-5760
営業時間 10:00~18:00 水曜休み



オーナーの座波美枝子さん



撮影 | 今井友樹

(注1)コンクリートブロックに空洞を作って各種の柄をデザインした、沖縄生まれの建築素材。
(注2)17世紀初頭から現在まで、沖縄で生産されている焼き物。



個人的なことは社会的なこと

貴戸理恵 著
青土社、2021年9月
1760円(税込)

本書は「社会問題を自分とは切り離して大上段に語る」のではなく、「自分の足元から社会問題を考える」をモットーに、子ども・若者、女性といった視点で著者が東京新聞に連載した時評から収録したものである。まずは「私」という個人をさらしながら、そこから立ち上がる「社会」との接点を見つめなおすという方法で論じられている。

ちなみにタイトルの「個人的なことは社会的なこと」は、1960年代の市民権運動や新左翼運動を背景として、性別役割分業や性・生殖など社会意識や慣習に根ざした不平

等を問題化した第二波フェミニズムのスローガン「個人的なことは政治的なこと」からとられた。

8年あまりの連載からひとつ紹介しよう。ジェンダー論について著者は、5歳の息子を育てる母親の視点から「男らしさ」とテレビ番組のスーパー戦隊に関して問題提起。数十年前の番組スタートから時代を経て「男らしさ」の描き方や「戦うこと」の意味が変化してきたとし、今ならたとえば武器ではなくペンで世界を変えるヒーローを描くなど、男の子の成長過程における脱暴力化を訴える。

著者自身、ロスジェネ世代

のひとりで不登校の経験を持ち、入籍しないまま夫と子育てするなど、非正規雇用や婚外子差別などの問題は決して人ごとではなかったという。著者がコーディネーターを務める「生きづらさからの当事者研究会」では、ひきこもりや無業、メンタル不調といった「私」の問題を抱えた当事者が、定期的に集まって自己を見つめ、同時に自分たちの生きづらさに影響する「社会」の構造について対話を重ねている。そんな参加者はもちろん、著者自身もまた「個人的なことは社会的なこと」を実践する一人なのである。

編集委員 阿部 太極

「帆花」は、生後すぐに「脳死に近い状態」と宣告された帆花ちゃんと、その家族の日常を描いたドキュメンタリー映画である。私がこの作品にプロデューサーとして参加したのは、撮影が1年ほど過ぎた頃だった。私は帆花ちゃんを考えると、どう感じているのかを知りたいと思った。相手を知ろうとする行為のみが、私にとってドキュメンタリー映画を作ろうとする動機付けだった。しかし、「はい」とも「いいえ」とも言えない帆花ちゃんを前にして、どうしたものかと考えあぐねていた。帆花ちゃんを主人公として映画を作る資格があるのだろうかかと自問した。

映画を作り上げていく過程で、いや心なく突き付けられた「存在とは？」という問い。当初國友勇吾監督とは、「ご両親の想いを描くこと」によって、帆花ちゃんが描けるのではないかと考えていた。しかし、どうも腑に落ちない。幾度となく改変を繰り返し、編集作業

帆花ちゃんが教えてくれたこと

人の目が見ていなくても風景はあるのだろうか

私の好きな、池澤夏樹の『ローラ・ビーチ』という詩の一節である。

ど過ぎた頃だった。私は帆花ちゃんを考えると、どう感じているのかを知りたいと思った。相手を知ろうとする行為のみが、私にとってドキュメンタリー映画を作ろうとする動機付けだった。しかし、「はい」とも「いいえ」とも言えない帆花ちゃんを前にして、どうしたものかと考えあぐねていた。帆花ちゃんを主人公として映画を作る資格があるのだろうかかと自問した。



監督・撮影：國友勇吾
撮影：田崎絵美
プロデューサー：島田隆一
製作：JyaJya Films+roa film
2021年 | 日本 | 72分 |
DCP | ドキュメンタリー

今月の作品 「帆花」



●今月の館主

しまだ りゅういち
島田 隆一

イラスト：
杉浦 健

2012年、監督作『ドコノモイケナイ』で日本映画監督協会新人賞受賞。監督最新作は『春を告げる町』（20年公開）。プロデュース作品『帆花』が全国順次公開中。現在、日本映画大学専任講師。「ドキュメンタリー映画って、観るよりも作る方が数十倍面白いよ!」といつも思います。

は難航した。そうして違和感の正体が臆げながら見えてきた。結局、ご両親の想いを描くことによって立ち上がる帆花ちゃんという存在は、私が若かりし頃に恐れていた、私が死んだあとにも世界は続き、いつの日にか自分が忘れられて無くなってしまおうという恐怖とつながっていたのだ。しかし、現実の帆花ちゃんは、私が見なくとも、聞かなくとも、そこに存在している。大げさに言ってしまうえば、ご両親が居なくとも、帆花ちゃんはそこに居る。そんな当たり前のことによりやく気付いた時、映画は完成していた。

私の市民活動 Library 第49回



あなたのルーツを教えてください

安田菜津紀 著
左右社、2022年2月
1980円（税込）

「外国人から感染した可能性が疑われる新型コロナウイルス患者が多く発生している」

そんな風説に煽られた「日本人」と「外国人」の理不尽な線引き。しかし、国籍や出自に対する差別や偏見は今に始まったことではない。

ここで著者は、まず自分自身の「ルーツ」について語る。ルーツを知るまでは、自分や家族が「日本人」であることを疑わず、社会的「マジョリティ」として生きてきた著者。自分の一端に「当事者性」があると知るまでは、差別やヘイトの問題は、皮膚の外側にあるものとして、痛みを感じ

ることすらなかった、と。

「あなたのルーツを教えてください」——本書はこの呼びかけに応えた12人のインタビューを中心に構成されている。

「本場の味を伝えるレストランを開きたい」という思いを実現するまでに翻弄され続けてきた元難民の過酷な歩み。

母国で民主化運動に参加してきた家族を持ち、「学校の授業の中で、自分の国について紹介しましょう、と言われても、何について紹介すればいいのか、子どもたちは戸惑ってしまうんです」と悩む母親の思い。

どれもが、「日本人」からは想像のできない、しかし私たちが決して目をそらしてはいけない問題を内包している。「社会的マイノリティに対し、『認める』『配慮する』などの言葉を用いられることがあります。そんな上から目線の言葉以前に、この社会は多様です」

本書が上梓された直後に激化したロシアのウクライナに対する軍事侵攻に鑑み、私たちはあらためて「共に生きる人たちのルーツに思いをはせるべきだ」と思う。

編集委員 杉浦 健